

TSURUMAKI News

医療法人社団 三喜会
鶴巻温泉病院

湘南メディカルセンター
湘南リハビリテーションセンター

2013 秋号
広報誌(季刊)19号 発行25年10月



笑顔の木

コスモス祭のテーマは、
CIRCLE OF SMILE ~笑顔の輪~

このテーマをもとに「笑顔の花がたくさん咲きますように」という意味を込めて、グループレクリエーションに参加されている患者様方が製作しました。咲き誇るコスモスの花と、個性が輝く素敵な笑顔の花にご注目いただければと思います。



リハビリテーション部 曾根部長挨拶



リハビリテーション部
部長 曾根 理

2020年オリンピック・パラリンピック東京開催が決まりました。オリンピックのシンボルといえば、重なり合う五色の輪ですが、これは五大洲を意味しています。ギリシャ最古の神託所にある祭壇に刻まれた五輪の紋章に着想を得てつくられたそうです。皆さんもご存知の「汝自身を知れ」という言葉が神託を聞きに来た人に対して神殿の入り口に刻まれていたそうです。

さて、病院はHospitality(癒し)、Quality(質)、Sustainability(持続可能性)の3要素で構成されるといわれています。東京オリンピック・パラリンピック開催から5年後の2025年、日本の超高齢社会はさらに進み高齢化率は30%になると言われています。その時にも信頼され・安心を届けられることができる病院でいたいと思います。自らの病院を客観視し、重なり合う五輪の輪のように各々のサービスを提供されている方々や地域の方々と力を合わせて、地域の皆さまの“その人らしい人生のサポート”をできるように取り組んでいきたいです。「お・も・い・や・り」の心で。

contents

曾根部長挨拶	1
院長室より	2
患者さまの声	2
最新ニュース	3
栄養サポート室長紹介	3
5S活動	4
部署紹介	4



夢があるから、がんばれる。



回復期リハビリテーション 一般病棟・療養病棟
医療法人社団 三喜会
鶴巻温泉病院 院章

5S活動

鶴巻温泉病院は「5S活動」を重点活動にしています。

5S活動とは整理・整頓・清掃・清潔・しつけの5個の頭文字のSを取ったものです。

- 整理 - 必要な物と不要なものを分け、不要な物を捨てる
- 整頓 - 必要な物がすぐに取り出せるよう、置き場所・置き方を決めて表示を確実にこなす
- 清掃 - 掃除をしてゴミ・汚れのない綺麗な状態にすると同時に細部まで点検する
- 清潔 - 整理・整頓・清掃を徹底して実行し、汚れのない綺麗な状態を維持する
- しつけ - 決められたことを決められたとおりに実行できるよう、習慣づける



部署紹介

外来

鶴巻温泉病院の外来は、月曜日から金曜日の午後と土曜日の午前に予約制で稼働しています。時間に縛られないきめ細かい診察をモットーに、長期に通ってこられている患者様も多く、看護師とも顔馴染みでアットホームな雰囲気です。

平日の午前中は、入院患者様の受入れを担当しており、入院の窓口としてサービス担当の職員と共に、患者様・ご家族様の不安解消に努めています。緊張して検査を受けられた患者様が、病棟にご案内する頃には緊張もほぐれ笑顔が見られると、ほっと暖かい気持ちになります。



●病院概要●

医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北1-16-1
TEL 0463(78)1311 FAX 0463(78)5955

診療科：内科、神経内科、
リハビリテーション科、歯科

病床数：591床



●湘南リハビリテーションセンター

回復期リハビリテーション病棟入院料1 103床
回復期リハビリテーション病棟入院料2 103床

●湘南メディカルセンター

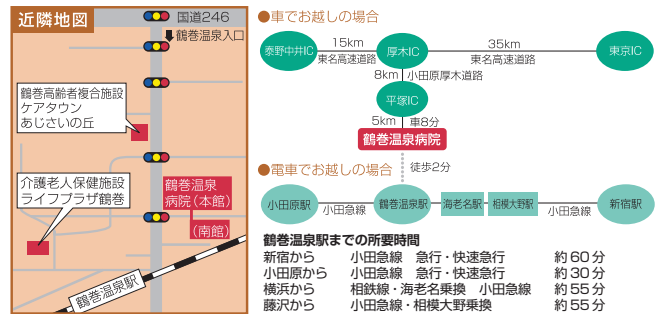
障害者施設等入院基本料（神経難病リハビリセンター）60床
療養病棟入院基本料1（医療保険適用療養病棟）120床
一般病棟（緩和ケア病棟）25床
特殊疾患病棟入院料1（特殊疾患病棟）60床
療養型介護療養施設サービス費（I）（介護療養型医療施設）120床
病院療養病床短期入所療養介護費（I）

●外来診療時間

【月～金】14:00～16:30

【土】9:30～13:00（日曜日・祝日は休診）

●交通案内



【時刻表】

JR平塚駅南口 (JA農協ビル前)	10:40
	13:40
	15:40
鶴巻温泉病院 南館 (湘南リハビリセンター)	14:30
	17:00

定員25名



送迎バス つるまきシャトル 運行中

平塚駅南口 JA 農協ビル前 ↔ 鶴巻温泉病院 南館

地域連携室

☎ 0463-78-1319

入院相談専用ダイヤル

☎ 0120-131146

ご意見フリーダイヤル（ペイシェント・ベル）

☎ 0120-250646



医療法人社団 三喜会
鶴巻温泉病院 湘南メディカルセンター
 湘南リハビリテーションセンター
 news@sankikai.or.jp

最新ニュース

【第1回在宅支援連携セミナー】

「在宅介護」を支援する地域内のサービスやその活用方法を知ってもらおうという「第1回在宅支援連携セミナー」が、去る9月13日(金)18:30~19:30 伊勢原シティプラザ・1Fふれあいホールで行われました。第1部は基調講演で、12年前に重度の介護状態となった夫を自宅で介護している綾部カズ江様が、いろいろな困難に立ち向かいながらご苦労された体験を通して、関係スタッフやご家族・地域の方との関わり合いや、サービスを受ける側の心情を語っていただきました。

第2部では、当院の在宅支援サービス(介護保険ショートステイ・訪問リハほか)を現場スタッフが紹介し、第3部では、いせはら介護支援専門員協会会長の上原延介会長が地域の活用について講演されました。参加者93名と、一般の方々から病院・介護保険サービス関係者まで、多くの皆様にご参加いただきましてありがとうございました。



【9月21日(土)22日(日) 病院祭(コスモス祭)を開催】



本館病棟イベント コーラス
起されれない患者さまのお部屋を訪問してコーラスを楽しんで頂きました。



本館
ウッドデッキの屋台村
「人形すくい」も子供たちに大人気でした。



南館多目的ホール
ハワイアンバンド
回復期リハビリ病棟ご入院中の患者さま・ご家族に楽しんでいただきました。



南館6階
縁日のように、にぎやかに。
スタッフも張り切って、飾りやお揃いのコスチュームで「おもてなし」をいたしました。

室長紹介 栄養サポート室



高崎 美幸
(栄養サポート室 室長)

前任の清水室長から栄養サポート室を引き継ぎ、早半年が経とうとしています。栄養サポート室は、チーム医療を円滑に行うために院内の情報を集め、調整を行い、組織横断的にNST(栄養サポートチーム)活動を遂行する部署です。

治療食であっても、美味しく楽しく安全に食べるにはどうしたらよいか?患者さんごとに見つけていきます。チームで関わった結果、患者さんの楽しみが増え、自然に笑顔がこぼれ、家族や友達もHAPPYになれる。そのためにはNST活動は、病院の中だけではなく、地域や外部の施設との繋がりがとても大切だと考えています。

当院では、退院後の食生活を支える「訪問栄養指導」を始めました。高齢でも脳卒中やがんの終末期でも食べる力(食力)はいのちを輝かせ、生きる力を引き出します。最期まで「食」を楽しめるよう、地域へ栄養サポートの輪を広げていきたいと思っています。介護する人もされる人も気がかりがあれば、是非栄養サポート室へご一報下さい。

院長室より 在宅患者さんへの支援を進めています。 院長 鈴木 龍太

現在日本にはおよそ160万の病床があります。表紙の曾根部長の言葉にあります。これから高齢者率が急激に増え、入院を必要とする患者さんが増加してきます。でも厚労省は病床を増やさず、急性期病院の入院日数を短くして対応しようとしています。退院する患者さんの多くは、少し辛いけれども自宅へ帰ることになります。

このような社会の変化に向けて、鶴巻温泉病院では在宅患者さんへの支援を進めています。訪問リハビリテーションは週1回程度訪問してリハビリを行います。最近鶴巻地区だけでなく、鎌倉地区にも出張所を開きました。本年4月からは訪問栄養指導を始めました。月に1-2回訪問して、栄養や調理法の指導、上手に食べられない患者さんに食べ方や食べやすい食事の指導をしています。また当院で歯科治療を受けて、治療の途中で退院される方には訪問歯科も提供しています。

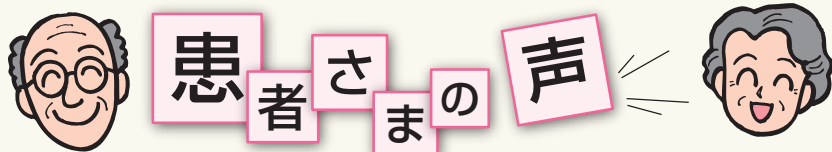
入院では、レスパイト入院(介護されている方の休養のための短期入院)、在宅応援入院(在宅で

見るには少し大変なとき、入院して集中的にリハビリをする等の短期入院)、介護のショートステイなど、色々な場面で病院と自宅とを行ったり来たりできるようなシステムもあります。何かありましたら地域連携室に是非ご相談下さい。

写真はコスモス祭(9月21, 22日)の際に「丹沢はだの三兄弟」と一緒に撮ったものです。



左より 鈴木院長 丹沢あゆみちゃん のぼるくん
上山看護部長 すずむくん 竹島事務長



『レクリエーションがとても良かったです』

… 退院患者さまアンケートのご意見より

レクリエーションで、コーラスへの招待を受けました。「歌で世界を結ぶ」というテーマでした。とても良く、感激で涙が出ました。最後に「花は咲く」を歌いました。震災の復興の歌でした。歌詞カードを下さった方ありがとう、嬉しかったです。また、ビーズの作品は孫や皆に喜ばれました。孫がビーズを買ってくれたのでたくさん作りました。入院中の記念品にと、大勢の方にあげました。

『退院指導が徹底していました』

… 退院患者さまアンケートのご意見より

退院前の家族への退院指導が徹底してしっかりされているのには驚きました。少し面倒くさいとも思いましたが、家族の心構えを確実にするためには必要なことと気づきました。何にしましても、多数のスタッフの方々が患者の氏名を良く覚えて対応していることがすごいなと思いました。ありがとうございました。

